

武蔵野市第五期基本構想・長期計画策定 圏域別市民会議（吉祥寺地区） 議事要録

-
- 日 時 平成 23 年 2 月 26 日（土）午後 1 時 31 分～午後 3 時 17 分
- 場 所 武蔵野商工会館 4 階市民会議室
- 出 席 山本泰委員長、
小竹佐知子委員、近藤康子委員、作部径子委員、前川智之委員、松本すみ子委員、
会田恒司委員、井上良一委員、
事務局（企画政策室長、企画調整課長、政策調整担当課長他）
市 民（11 名）
-

議 事

- ・委員長より委員紹介、会議の趣旨説明の後、吉祥寺地区市民との意見交換が行われた。

【市民】「市民施設ネットワーク再構築」について、どのようなネットワークの中でその施設を位置づけて考えるのか検討していただきたい。

行政需要の変化や新たな行政課題に関して、広く市民の力を行政との協働の中で生かして、課題に対応していくという視点を盛り込んでいただきたい。コミュニティとの協働やNPOや市民活動との協働を推進していくという視点から考えていただくのがいいのではないかと。

イニシャルコスト及びランニングコスト、利用状況の整理・分析・公開について。そこでどのようなことが行われてきたかという機能の検証が不十分な部分が多い。そこをきちんと記載する。市民と市とで情報を共有して検討する場を準備していただきたい。その検討を踏まえて今後の公共施設の提示の形を最終的に決めていくという道筋をつけていただきたい。

【委員長】例を挙げていただきたい。

【市民】ヒューマン・ネットワークセンター、西部図書館跡地、市民会館、今後つくられる武蔵野プレイスのネットワークもどうなっていくのか。機能がどう評価され、これまでどれくらいお金がかかっていたのか、今後どれくらいのお金がかかるのかということ。

【市民】 文書で出したものはもう読んでもらったのか。

【委員長】 まだ途中の段階では見ていない。

【市民】 西コミセンと泉幼稚園の関係で、西コミセンは西コミセンで、泉幼稚園は泉幼稚園なので、一緒にして考えてほしくない。長期計画の文書から西コミセンの文言を外してもらいたい。

【市民】 全市レベル、三駅圏レベル、コミュニティレベルとあるが、全市レベルというと、市の中心に置くという考えなのか。全市レベルという場合に、地域性のことも考えて検討しているか。

【委員長】 全市レベルといっても、必ずしも市の真ん中にあるとは限らない。

【市民】 東地区は公会堂で、真ん中は武蔵野芸能劇場で、西はスイングホールと分かれている。

【委員長】 1つの施設も複合的な機能を持っている。3分の1を担当している場合もあるし、全部を担当している場合もある。おっしゃっている件は、十分理解できる。

【市民】 全市レベルの武蔵野プレイスが拠点で、その出先が3カ所ぐらいあってもいいのではないかと
いうことを提案する。

【委員長】 柔軟に市民のニーズにこたえるよう配慮したい。

【市民】 行政の情報が正しいタイミングで住民に届いていない。1つの例としては、下水道の合流改善に関することである。選択肢が住民の側に1つもない。自分たちで考えて、こういう方法もあるのではないかと提示しているが、市側の反応が鈍い。合流改善に関しては異論がない。杉並区に迷惑をかけているから何とかしなくてはならないという態度である。

【委員長】 そこに大きな貯水槽をつくるが、それが問題だということか。

【市民】 合流改善はそれでしかないということではなく、ほかにも方法があるということをいいたい。

【委員長】 市側とは意見交換しているのか。

【市民】 意見交換というより、ずれが余りにも大きくて、不安が非常に多い。押し切られるのではないかと絶望的な人もたくさんいる。

【委員】 情報提供が一番欠けている点は多くの皆さんからいただいている。下水、水道、ごみは武蔵野市の中だけで解決できるものではない。そのことが市民に伝わっていない。

ほかの方法は、浸透ますの設置ではないか。

今までは新築とか公共施設だけだったが、既存の住宅にも浸透ますをつけていただいて、下水のほうに雨水を流出させないという検討を進めている。理解を得るように説明していきたい。

【市民】合流改善は全市の問題である。雨水浸透ますとか雨水タンクは絶対やらなくてはならない全市民のインフラ参加であると思う。

それをやった上で貯留槽が必要であれば住民も納得すると思う。法政跡地、記念講堂の跡地に汚水槽をつくるのは住民は全く納得していない。それより、女子大の地下にシールド工法によって1万立米の貯留管を設置すべきだという意見が多い。それが可能である。そこを市が余り考えてくれていない。そこが大問題だろうと思う。住民と一緒に考えていただきたい。

【市民】エフエフホールでコーラスを長年やっている。美術館と一緒になっていて、種類が同じでないものが併存するのはおかしいということで、再配置の対象になった。エフエフの利用率は99.9%もあるし、音響効果もすばらしい。対外的にも魅力的な吉祥寺ということで大事な場所である。何とかあの場所にしてほしい。

【市民】きょうの趣旨を確認したい。意見交換と書いてあるが、意見交換も行われていない。そちらの方も発言されてはどうか。

『市民自治の原則』の継承」とあるが、今回の最大のテーマかと思う。継承という言葉に違和感がある。継承というのは受け継いでそのままだということだが、現実には、市民自治の原則は壊れている。継承だけでこのまま続けていけるのか。委員はその辺わかっているのか疑問に思う。コミセンの役員のなり手がいないとか、委員長が決まらないのが現実である。市民自治が成り立たなくなっている。継承よりも立て直すためにどうしたらいいかを考えるのが今回の長期計画の大きなテーマであると思う。立て直すためにどうしたらいいかを全体の議論としていただきたい。

子ども・教育のところで、学校が統合するんじゃないかということを書かれています。それよりも大事な少人数学級の記述が全く見られない。少人数学級を進めるのは大事なことなので、そういった記述も加えていただきたい。

【委員長】この会合自身の性格が、意見を聞かせていただくという趣旨と、意見交換するという2つの趣旨がある。バランスを心がけていきたい。

継承のご指摘は全くそのおりである。形や仕組みを新しく考えないと、原則の継承もできないという認識に立っている。市民による自発的な問題解決をどうやって促していくか、今回の基本構想の最も大きなテーマである。

学校統合とか短絡的なことは考えていない。少人数学級も1つの対策であるが、

少子化の中での公立学校をどう充実していくかについて、武蔵野市は教育のまち、文教のまちという看板があるので、それに恥じないようにしていきたい。

【市民】私は、環境浄化をやってきたが、今、街角に売春婦が出ている。そういう状況を踏まえてどうしたらいいのかを考えていただきたい。

【委員】東部地区の概況は、商業地域でありながらそういう住宅環境でいいのか、本当の活性化ができるのかという疑問があった。東部地区の地区計画の一定の提案はあったけれども、地権者の同意が得られなかった。昨年 11 月東部地区まちづくり協議会をつくっていただいた。市民参加、自分たちのまちは自分たちの力でつくっていく。さまざまな形で一緒にまちをつくってきたい。

【市民】駅の周辺で環境浄化とかつきまとい条例とかお願いしているが、環境浄化は一向に変わっていない。最近では、売春の方たちがいっぱい立つようになった。

吉祥寺の駅とか伊勢丹跡地は変わったが、武蔵野市役所の方は、これをよしとしているのか。吉祥寺の町の変貌はいい方向にはいっていないと思う。市役所は真剣に吉祥寺のことを考えてくれているのか。

法政高校の汚水のことでは、地下に地震や災害のときのための貯水槽をつくって上を公園にするという話だった。高い建物ができないところを何で市役所が購入するのかと思っていたら、こういう結果で、市民をばかにしている、裏切った行為だと思う。真剣に町の未来を考えてほしい。

【委員】武蔵野らしさとかまちづくりといったところがどこにあるのかというのはご指摘のとおりだと思う。安心で安全で暮らせる町が前提で、武蔵野のブランドを見直す今後の 10 年だと思っている。

法政高校の跡地の問題では、情報がしっかり伝わっていない。早急に情報をうまくしっかり確実に伝えていく、信頼関係のもとにお互いまちづくりに参加していくことが重要である。

【市民】情報を早目に出していただきたい。法政が出ていったときに、高層が建てられることを住民は全く知らなかった。情報がなかった。24 メートルのマンションが建ってしまった。成蹊や日赤も突然移転したら、そこはやはり高層マンションが建ってしまう土地であることを周りの人は知らない。移った場合に高いものは建てられないという約束が入れられるかどうか。ぜひ入

れてほしい。

上下水道は危機的状況であることが耳に入ってくる。危機的状況であることが市民に伝わっていない。都と一元化は嫌だと思っていたが、そうではないことがわかってきたので、一元化して、水の供給を得られるようになったらいいと思っている。

【委員】都市インフラは安心・安全が前提である。安全性を優先して計画を進めるべきだと思う。住環境は市民と行政が一体となって考えていかなきゃいけない。もっと情報交換すべきである。どういう町にしたいのか、どういう住環境にしたいのか、不満に思っていることは何なのかを聞いていくべきだ。

【市民】市民自治の原則の話で、コミュニティセンターの委員長をしているが、なり手が少なくて困っている。市のほうで定年者を受け入れて、活動の講座を設けて、修了したら、市が積極的にバックアップ体制を敷いてしてほしい。

武蔵野市郷土史会に所属している。西部図書館の跡地に歴史館をつくっていただけるとのことです、非常にうれしい。市民の意見をどのように吸収するのか。

【委員長】働き盛りの方々がどういうふうに地域社会とかかわるかというのが大きなテーマである。地域社会の実情とか問題に関心を持ってもらうように試みている。「お父さんお帰りがささいパーティー」のような働きかけはやっているが、見えるような成果には結びついていない。大きなテーマで、ご指摘のとおりだと思っている。

郷土史、郷土資料については、どのように整理、保存し、利用、活用していただくかは、市民自治の原則の中でやらせていただく。

【市民】問題が地域に起こったときに住民としての意識が芽生えて行動に結びついた。そういう経験を繰り返して、市民自治が芽生えてくる、その芽生えたときが大事である。そのときに行政は失望させる行動をしないのが第一である。

市議会議員の役割。チェック機関であることを忘れずに、住民感覚を身につけて動く必要があることを骨の髄まで感じてほしい。

【委員】自治の芽生えがあったときに、住民であることの意識の始まりであるというのはすばらしい言葉だと思う。原則の継承の話があったが、原則があることが武蔵野市の誇りであることを忘れないようにしたい。

マイナスのことではなくて、本当のあるべき姿は、得をするから、楽しい、うれしいから参加

するというのがウィンウィンらしいハッピーだと思う。

【市民】歴史資料館について。4期の長期計画の中に、中島飛行機武蔵製作所に代表される戦争の記録が書かれている。歴史資料館を中島飛行機製作所のあった場所あるいはその近くにつくることはできないか。

ムーバスは、武蔵境に住んでいると市役所、総合体育館に行くのに不便である。武蔵境の駅前から北側を回って吉祥寺までつながる路線をつくってもらえると、中央エリアに行きやすい。

武蔵境は、駅舎も含めた南北一体化のまちづくりが進んで、北口の整備が始まると聞いている。南口の整備計画も長期計画の中に取り組み課題として書いていただけないか。

【委員】歴史資料館については具体的にどういう形にするかまだ決まっていない。意見をいただいて動く。中島飛行場の件は、発想としてはいいが、最終的には予算の問題がある。意見として伺っておきたい。

ムーバスについては、次の時期に向けて改善すべきところを上げていく。意見を拾っていただければと思う。

【委員】ムーバスについては、それぞれの公共施設をつなぐことは難しい。今の時点では市としてはそこまでは考えていない。ルートを見直す中で協議していく。

武蔵境の南口については、市としても北口広場に続いて南口についても一緒に整備を考えていきたい。

【市民】歩道が広ければ広いほどすごいスピードで自転車が走る。主人が自転車で障害者になってしまった。自転車に恐怖感があって外には一切出ない。歩道の広いところを早く走っていることに対して、何か市のほうでやることはないものか。

【委員】バリアフリー基本構想改定が出た。情報を的確につかみにくい状態にある人が、自転車でパーッと横を通られると家から出るのが嫌になるのはわかる。歩道を安全に歩けることは、病気を持っている人、障害を持っている人、持っていない人、関係なく重要なことであると思う。自転車のスピード制限については勉強させてもらいたい。

【委員】規制とかルールの強化も重要であるが、モラルをもっと高めなければならない。長期計画の中でも具体策も含めて検討していきたい。

【市民】自転車の問題で切迫しているのは女子大通りである。車道は拡幅しなくていい。歩道を拡幅してもらいたい。

【委員】都道であるので、セミフラット型にしてもらえないか等、東京都に要望している。

生活道路に5000台も車が入ってくるので、協議させていただいている。都市計画道路ネットワークを早く完成させることも一緒に考えていきたい。

【市民】市役所が市民の思いを受けとめてくれない、市民協力が進まないといわれているが、市役所の方に武蔵野市に住んでもらって、市民の気持ちがわかるような施策を進めていただきたい。

コミセンの役員のなり手が少ない。コミセンが義務化して、市の外郭団体になって貸し館事業をやるのが役目になっている。コミュニティ協議会を活性化させるためには、予算をつけなければいけない。コミセン1個当たり年間1億円出すくらいの大きなことをいつていただきたい。1億円とすると十何億円が必要だが、市の職員の10%ぐらいを削れば10億円ぐらい出る。夢のある話を長期計画に盛り込まないと、継承といわれても先に進まない。

【委員長】武蔵野市に住んでいる職員が少ないのは事実だが、住宅手当などをすればお手盛りをやっていると見られる。市職員が市内に住むメリットに対してどれぐらいお金を使ってもいいというコンセンサスがまだない。

コミセンも、お金をつけるのも活性化の手段ではあるが、調整計画のような地道な仕事の中で大胆なことをいうのは難しい。市長に会ったら伝えておく。

【市民】コミュニティの個別性を確認して、個々のコミュニティに合ったサポートをできる取り組みを組み立てていただきたい。

コミュニティ評価委員会は、パワーアップして、コミュニティ評価サポート委員会のような形にして、市のほうに上げていく。そういう具体的な取り組みが必要になってくるのではないかと。

【委員】ご意見のコミュニティ評価委員会等を設置して、活性化に向けて動いていくとか、いろんな方法が考えられる。すばらしいアイデアだと思うので、みんなで考えていきたい。

【委員長】形成評価的な側面を入れて、信頼関係のあるところからコミュニティづくりの中身に立ち入って提案したり評価して、提案型のことをする、それは十分あり得る。具体的な提案で、取り込んで盛り込ませていただきたい。

【市民】市の行事のパネラーとしては、武蔵野をよく知っている方に参加していただきたい。

3つのお寺があるが、土地を生かすために、地代を下げるといふお願いはできないものか。昔の役場のように、地元からの採用が望ましい。

新規に入った人には地元を知る意味で生ごみの回収に連れ回ってほしい。

【委員長】職員とはいえども居住の自由がある。

お寺さんも、私人なので、まけろとは公的な立場の行政からいえない。

——— 了 ———